



尿検査について

尿検査は、腎臓の病気や糖尿病などを、自覚症状がない早い段階で発見するための検査です。学校の尿検査では、たん白、潜血、糖について調べます。



★尿検査で見つかる主な病気★

【尿たん白陽性】

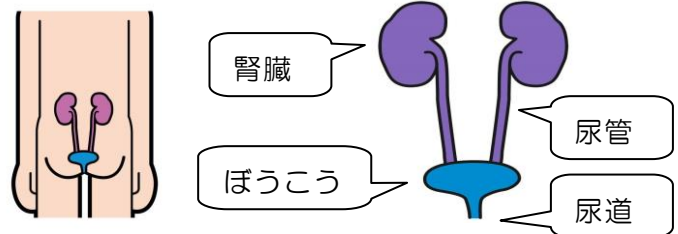
- 腎臓病（糸球体腎炎、ネフローゼ症候群など）
- 生理的たん白尿（体位性たん白尿、熱性たん白尿、運動後たん白尿など）→ 一過性のもの

<体位性たん白尿（起立性たん白尿）>

体位性たん白尿とは、安静時の尿にはたん白が出ていない（陰性である）のに、立ったり動いたりするとたん白が陽性になり、再び安静状態になると陰性になるという体質的なものです。若い人に多く、成長するにつれて出なくなります。

【尿潜血陽性】

- 腎臓・尿管・ぼうこう・尿道等の、炎症・結石・腫瘍（がん）など



【尿糖陽性】

- 糖尿病
- 腎性糖尿

<腎性糖尿>

血糖値は正常なのに、尿に糖が出てしまう状態です。体質的なものが多く、特に治療は必要ないとされています。

★腎臓病の早期発見のために★

腎臓病の多くは、初期には自覚症状がほとんどなく、自分では気づきにくいので、知らない間に腎臓の障害が進んで、将来、人工透析や腎移植が必要になることもあります。そのため、できるだけ早く見つけて治療を始めることが大切です。腎臓病は、自覚症状がないかなり早い時期から尿に異常が現れることが多いので、定期的に尿検査を行えば、病気の早期発見・早期治療が可能です。

★糖尿病の早期発見のために★

血液のブドウ糖の濃度（血糖値）が高くなってあるレベルを超えると、尿にブドウ糖が出てきます（尿糖陽性）。糖尿病は、初期には自覚症状がなかったり分かりにくかったりするため、早期発見・早期治療のためには、尿検査や血液検査などを定期的に受けることが大切です。血糖値が高い状態を放置していると、様々な合併症が出てきます。糖尿病による腎臓障害が進んで人工透析が必要になったり、視覚障害が進んで失明したりすることもあります。

★尿検査で異常があったら★

一次検査で異常があった場合、学校で二次検査を行います。二次検査でも異常があった場合は、病気の有無を確認するため、必ず医療機関で精密検査を受けてください。

